

二部地区活性化だより

野上川の風

発行
二部地区活性化推進機構編集
総務部会

事務局

〒689-4233
西伯郡伯耆町二部1562-1
二部公民館内
TEL・FAX 0859-62-7159

地域づくり団体全国研修交流会

鳥取大会

住田 圭成(福岡)

地域づくり団体全国研修交流会鳥取大会が、昨年九月二十九日、三十日の二日間に亘って開催されました。伯耆町での分科会は「水をいかしたまちづくり」をテーマに全国から二十四名の参加があり、町内からは丸山集落と二部地区活性化推進機構の二団体が参加しました。分科会を開催するにあたっては、二年前から実行委員会を立ち上げ、準備を進めてきました。

初日は、倉吉での全体会終了後、丸山集落に移動し、地蔵滝の泉を守る会の活動や企業と連携した取り組みについての紹介と意見交換会を行いました。夜は、丸山交流館で地酒、地ビール、どぶろくと地元食材の手料理を囲んで夜なべ談義で盛り上がりしました。

二日目は、二部宿の出雲街道の歴史にもふれていただいた後、会場を上代学校に移してどぶろくを中心としたまちづくりについて、紹介をさせていただきました。また、そば打ち体験交流会も行ないました。

最後の意見交換会で、参加者から「地域を良くするために一生懸命頑張っているその思いが伝わる研修であった。」などの感想を寄せていただきましたことは、研修会を成功させようとの思いで取り組んできた初期の目的が達せられたものと思い、喜びを感じております。また、実行委員会を通じ、町内の丸山地区の皆さんと二部地区との交流が深まったことは、まちづくりの上で意義も大きいものと考えます。

住田泰氏(前会長)の 知事表彰を称える

田邊公教(福岡)

地域の協働活動が推進され、地域社会の活性化に貢献された功績により、表彰を受けられました。誠におめでとうございます。

二部地区の活性化を目指して、平成十一年に二部地区活性化推進機構を組織発足されて以来、約十二年の長きにわたり、その会長としての豊かな見識と培われた指導力により数多くの地域づくりの事業と活性化の事業により、その成果を数多く挙げられ地区内外に評価されております。

平成二十四年二月に共同通信社主催による全国の「地域再生大賞 優秀賞」を一部地区活性化推進機構が受賞しました。これも住田前会長の実績によるところが甚大で、県内外からも評価されており、その活動が、各地から関心をもたれているところであります。

この度の表彰を受けられたことは当然のことと皆さんが認められるところであり、皆さんと共に喜びとお祝いを申し上げたいと思います。

今後とも健康に留意して頂き、末永く二部地区活性化推進機構と地域の



受彰式

の為に指導いただき
ますようお願い
申し上げます。
この度の知事表彰、
本当におめでとうございます。

地域づくりの交流研修

住田 泰(福岡)

●二部から岡山県津山市へ

今年度の県外研修で十月二十九日、二十二名参加で新加茂地域の住民自治協議会を視察しました。四年前、津山市のモデル事業として設立され、責任者から四部門の活動状況の説明を受けました。今年度、実施された主要イベントは、地域新聞の年二回発行、三世代交流の芋掘り、グラウンドゴルフ、高齢者の紅葉と温泉のバスツアー、ふるさと再発見ウォーキング等、参考になる取り組みを聞きました。この地は市北部、加茂川上流で人口千四百四十四、鳥取市旧佐治村と背中合わせの中山間地で過疎と高齢化等、共通課題を抱える地域でした。また、出雲街道の城東町並保存地区の視察も行いました。

●津山市から二部地区へ

十二月十二日、津山市からバス一台、二十名の視察団が二部公民館を訪れました。当機構の活動状況をDVDと講話で紹介し、その後、地域振興の意見交換を行いました。

そして、農家食堂「上代学校」に移動し、そば定食を食べられて、帰路につかれました。

●中山間地域が抱える今後の課題

この交流会で感じた事は、次の通りです。中山間地の振興課題について、最近の農業雑誌は次の様な事例紹介をしています。それによれば、



津山市からの視察

不遇と思われる中山間地にも「宝の山」が存在しているという。それを掘り出すには、外側から観る眼が必要と。即ちU・Iターンを期待することだと。勿論、地域住民の発想も必要で、内外両者の同意による特産物作りを検討してみてもいいと感じました。空家や耕作放棄地を活かした移住者受け入れも新課題と思われれます。視察交流がこうした課題解決に発展することを期待します。



新加茂地域住民自治協議会の視察

秋の賞味会

樋口春子(二部)

○好評だった秋の賞味会

平成二十四年度の秋の賞味会を十一月十五日に開催した。お陰様でこの会も少しずつ皆さんに知れわたり、町内は勿論、大山町や江府町からも参加者があつた。当初、五十名の募集予定であつたが、応募者が多く六十名とした。

来場者の期待にこたえるべく、検討に検討を重ね、今年のメイン料理をカニは、鮎の甘露煮、松茸の吸い物として力を入れた。

料理は、見た目で楽しみ、舌で味わい満足する物でありたいと思う。

好評のうち賞味会は終わつたが、抜群のチームワークと和やかな雰囲気の中で仕事が出来たことがとても嬉しかった。次回もまた、よりよいものを求めて頑張りたいと思う。

○ごちそうさまでした(参加者より)

十一月十五日、二部公民館での賞味会へ友達五人で参加させていただきました。今年で二回目です。二部谷の紅葉も楽しみでしたが、あいにくの雨でちよつと残念でした。生まれ育った故郷は、年を重ねるにつれて懐かしいくとおしく感じられます。

花で飾られたテーブルでの賞味会です。ご飯の上でカニが横歩き、ポーズ、ダシがしみ込んだおいしいご飯でした。鮎の甘露煮、地元の新鮮な野菜の味付け、旬の椎茸、キノコ、ゆずの工夫された料理、みんなやさしい味でした。松茸の吸物も感動でした。珍しかったのは筍スルメ、不思議な食感で友達と主人へ、そつとカバンにしのべていました。

何日も前からこの日のために準備されたことでしょう。同じ主婦の立場だから皆さんの大変さが良くわかる気がしました。

お腹もいっぱい、雨も上がり、満ち足りた気持ちで帰路につきました。もう一度、ごちそうさまでした。



秋の賞味会

くいしん坊！ 万才

影山千世子(船越)

伯耆町コミュニティプラザに於いて、椎茸特産グループ山の神会が、十一月二十日、フジテレビ「くいしん坊！万才」の取材を受けました。取材には、有名な元プロレスプレイヤーの松岡修造さんとスタッフ七名が来られ、松岡さんの背の高さはもとより、身体全体が大きいのに驚きました。最初に言葉は、「容赦しませんよ。」「はい。受けて立ちます。」で大爆笑の中、和やかに収録が始まりました。とても気さくで熱血漢そのままの方でした。背が高いので私達と同じ目線で足腰を曲げての撮影で大変だったと思います。メニューは、「ジャンボ椎茸の刺身」「姿羊羹と団子」「椎茸味噌」「椎茸煎餅」「椎茸のバター焼き」。まず、生椎茸の大きさと厚肉にビックリされ、初めてこんな大きい椎茸を見た。椎茸は好物と言いつて、豪快な食べっぷり。その中でもフライパンを片手に「バター焼き」が気に入り、内緒で私達の「椎茸だし醤油」を付けてフーフーしながら、四枚ペロリ。「煎餅」は丸ごと口の中に……。その後、スタッフは松岡さんの食べられた料理を一皿ごと、箸で手の先から再度、収録撮り。豪快に食べられるので、これが一番大変とスタッフのほやき。その間、松岡さんはサイン、住民とのスナップ写真、ケーブルテレビのインタビュ

食いしん坊 万歳 収録



ー等、気軽に対応され、改めて松岡さんの器の大きさ、人間性の良さを知り、益々、大好きになりました。そして、私達は、松岡さんのパワーを頂きました。松岡さん曰く「椎茸パワーには負けました。」と。

撮影時間は、午後五時から八時半迄かかりました。五目御飯をおにぎりにし、田舎の漬物とセットにして、次の取材先の広島県福山市に向われるのをいつまでも手を振って見送りました。しかし、放映が関東方面のみなので、皆さんに観ていただくことが出来なくて、とても残念でした。漫才をしながら楽しく笑い撮影できたこと、いつまでも忘れることはないでしょう。

女性グループ 農産物販売

仲田稜子(二部)

昨年十二月二十日、山菜や野菜の加工について西部普及所の鹿島さんと藤井さんを交えて話し合いをする中で、手始めに歳暮市をしてみたい、という意見が出ました。話し合いだけでは何も前進しません。まずアクションを！行動力のある人が多く話はトントン拍子でまとまり、でも慌ただしく、十二月二十七日、旧JA二部支所をお借りして開催致しました。

商品は、大根・カブ・葱などのとれたて野菜、椎茸せんべいや椎茸だし醤油などの特産の椎茸を使った製品、筍やゼンマイの塩漬け、しめ縄や黒豆、もち米などお正月用品、手作りクッキー、地元産大豆100%の豆腐等、急な思い付きとしては、まずまずの品揃えだったのではないかと思います。しめ縄や豆腐、塩漬けの山菜などは大好評でした。御来店いただいたお客様、ご協力いただいた皆様に、厚くお礼を申し上げます。有難うございました。はじめての商いで、不手際な点、行き届かない点が多々あつて、お客様には御迷惑をお掛けしました。この経験を踏まえ、次に繋げていこうと思っております。

また、本来の山菜や野菜の加工についても、皆の創意工夫で、「ふるさと小包便」に採用していただけるようなものを作りたいと意気込んでいます。



農産物販売

二部梁山泊の紹介

梶間晋二郎(畑池)

平成二十四年七月に「二部梁山泊」を結成しました。メンバーは二部地区の三〇代を中心に構成しています。二部梁山泊という名称の由来は、中国の小説や築地梁山泊(大隈重信や井上馨たちが政治談議している屋敷のことです)から来ています。二部地区の様々な能力を持った有志が結集し、地域を活性化しようとする団体です。

地域の方々や公民館の協力を得ながら色々なイベントを催していきたいと思っておりますので、温かく見守っていただき、強力な協力をお願いします。



節分 イベント



ハロウィン イベント

【Facebookをやっています!】



QRコード対応の携帯電話をお持ちの方は、QRコードを読み取ってアクセスして下さい。

にぎわった たたらまつり

藤田 常雄(藤屋)

二部公民館の大きな行事である「たたらまつり」が二月二十三日から二十五日にかけて開催されました。このまつりは、二部公民館を拠点に活動されている同好会の一年間の活動発表の場であり、またグループや地域でコツコツと研鑽を重ねられた作品の発表の場でもあります。今年も沢山のすばらしい作品の出品がありました。皆さんはゆつくり鑑賞されましたでしょうか。

今年の特別展は、「平和への願い 二部谷にみる戦争の譜」残されていた兵事日誌」と題し、遺品等の展示を交えながら、平和について考える特別展として、戊辰戦争以降の資料が展示されました。

展示された「兵事日誌」は、旧二部村役場で作成されたもので、これをもとに平成二十二年八月に山陰放送により放映されました。

今回の展示では、戦争に関わる貴重な遺品を数多く出品いただきました。足羽篤之介さんの書状、軍服、写真、手紙、寄せ書や軍艦、潜水艇のレプリカ等々、これら多くの品々を今後も大切に保存していただきたいと思います。また、多くの方が兵役により戦死されている事を再認識し遺族の方の思いに心を痛めました。

私も歴史、戦争について改めて勉強させていただく良い機会になりました。

農産物等の直売も

今年は若い「二部梁山泊」の参加もあり、大変盛況でした。毎年好評の「ぜんざい」も二部こぶしの会の皆さんにより、おいしくいただきました。

実行委員の皆さんには企画、資料収集展示に精力的に取り組まれましたことに敬意を表します。



特別展

二部公民館 同好会のご案内

●編物同好会

始めてから23年以上にはなりますが、その間、生徒は入れ替わっていても、指導者は松尾東志子先生一人です。

教室名は、編物となっていますが、パッチワークその他手芸のことなら、すべてお任せです。

良き先生に恵まれ、教材は生徒それぞれ違っていても対応していただき、月2回の第1・第3水曜日の午後3時間があつという間に過ぎてしまいます。

●水墨画同好会

講師先生の熱心なご指導のもと、会員一同楽しく勉強しています。

1.定例会

各月の1日(土・日・祝日の場合は、その直後の平日。1月は別)

2.講師 細田利彦氏

3.内 容

- ①先生が準備して下さった教材をもとに指導を受ける(宿題)。
- ②前月の宿題作品の鑑賞と指導。新教材の説明と指導。
- ③教材例(花鳥・風月・静物等)

4.会員数 9名

●絵手紙同好会

例会は、各月1回、原則として第2金曜日です。会員数は14名、住田富寿子先生を中心に、仲よく楽しく学んでいます。

教材は、自分の描きたい物(例えば、季節の果物・花・野菜等)を持ち寄ります。

用紙は、主に画仙ハガキを使用し、その日の作品は、カラーコピーをして、保存するようにしています。

年1回は、写生を兼ねて食事会に出かけ、会員の親睦を図り、楽しいひと時を過ごしています。

●コーラス同好会(NB合唱団)

NB合唱団は、平成9年に発足し、平成12年に混成合唱団を結成しました。

男性8名、女性21名で、小椋先生、加藤先生のご指導のもと、月2・3回、二部公民館で午前中、練習しています。色々な曲、ロシア語の曲にも挑戦しています。

ロシア語の曲は、今年で7曲目になります。発音は難しいですが、完成目指して頑張っています。

歌は、健康によし。また、ストレス解消にもなり、何といっても楽しいです。

●手芸同好会

25年ばかり続く押絵づくりのグループです。布の小切れなどを細工する根気のいる仕事ですが、出来上がった時の喜びは格別です。たたらまつりが主な発表の場で、苦心の作品を出品しました。

●古布の会(古布に心を)

古布の会を始めて6~7年になります。我が家の古い衣服を、それぞれが持ち寄り、会話の中からステキなアイデアも浮かんできます。使い捨ての今日この頃、古い布も芸術的なものに生まれ変わります。今、古着の再生に喜びを感じ、会話は続きます。古着引き受けますよ。

●書道同好会

会員は4名。講師は門脇翠豊(本名豊)先生です。授業は月2回。楷書、行書、草書、釈文、五體字類等の教材で練習し、その場で添削を受けられます。

展覧会前には、掛軸、横額、色紙、短冊、自由詩文等、自分の好きなオリジナル手本をいただくことが出来ます。近隣稀にみる万能鬼才な先生で、朗らかで温かい教室です。

●生花同好会

忙しい日常生活の中に、“雅な心”を求めて～

昭和20年頃公民館に集い、故岡村密江先生にご指導願ひ発足しました。全員で20名位が先生を囲んで水盤に向かい励みました。

以前は、花の会昼の部、夜の部として活動してきましたが、岡村先生没後、新指導者として高橋和子先生をお招かえし、今日まで続けております。米子市で開催される諸流合同生花展には、各自、見学に出て、研修の場として自分のものとしてしています。



たたらまつり 同好会 展示

参加希望の方は、
二部公民館
TEL.62-7159まで
ご連絡下さい

あどがき

「暑さ寒さも彼岸まで」といいますが、二部谷にもようやく春の訪れを感じるようになりました。しかしながら、例年になく雪の少ない冬で、夏場の野上川の水量が懸念されます。今年度二回目の「野上川の風」をお届けします。広く二部地区の活性化につながる様々な取り組みを紹介しています。「たたらまつり」は、小雪が舞う寒い中での開催となりましたが、老若男女多くの皆さんが参加され、大変賑やかなまつりとなりました。このような熱気とパワーある取り組みをだんだん広げ、皆さんで元氣あふれる二部地区をつくっていきましょう。